

## 2024年春季 第58回実用イタリア語検定IBT アンケート結果

オンライン試験は今回で3回目となりました。試験期間は3月10日から17日までの8日間とし、ご都合の良い時間帯に受験していただきました。

オンラインとしたことにより、インターネットやパソコンをご利用になれない方々、およびオンライン試験自体を否定される方々から受験機会を奪うことになってしまったのは心苦しい限りですが、巨額の会場使用料や運営費を削減しなくてはならない状況が続いていることをご理解ください。

試験後、公式サイトでアンケートを募集しましたので、その結果をここにご報告いたします。お書きいただいたコメントもそのままご紹介します。“→青字”は事務局からの回答です。今後の検定のありかたを考えるうえで、とても貴重なご意見ばかりでした。

### アンケート内容

- 問1 今回受験した場所（都市名）をお教えてください。
- 問2 秋季も含め、“初めて”伊検を受けた方へ：当検定を何で知りましたか？
- 問3 パソコンや通信回線に問題なく、スムーズに受験できましたか。
- 問4 パソコンなどの操作は容易でしたか。
- 問5 Windows以外の端末を利用しましたか。
- 問6 HPや試験開始前に掲示されていた注意事項は、わかりやすかったですか？
- 問7 新型コロナ拡大以来、オンライン、実会場ともに受験者が減少し続け、40%余り減少しました。イタリア語だけではなく、他の第二外国語の検定試験も同様の傾向です。原因として思い当たることがあればお書きください。
- 問8 その他、ご感想やご希望があったらお書きください。

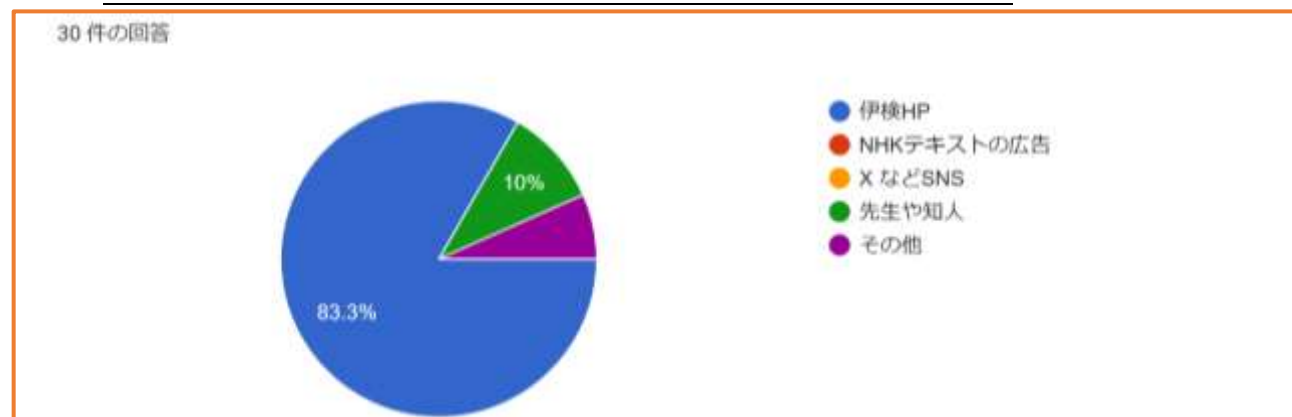
62名の方から回答が寄せられました。貴重なご意見を多数いただきましたので、今後活かしていきたいと思っています。

大量の内容となりますが、ご批判・苦情も含め、ご意見の大部分をそのまま、以下にご紹介いたします。

#### 問1 今回受験した場所（都市名）をお教えてください。

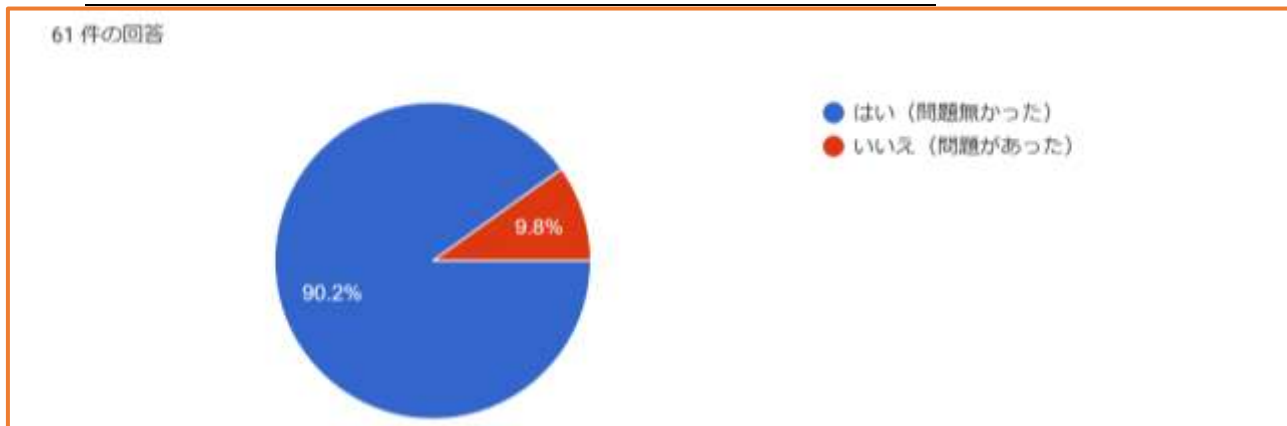
回答が非常に多岐にわたるため、ここに詳細を記載するのは控えさせていただきますが、会場にお越しいただくのは大変 or 無理だ、と思われる方々が目立ちました。また、海外受験者が9.6%と、会場試験の3倍までになったことを見ても、オンライン開催の意義を実感しました。

#### 問2 秋季も含め、初めて伊検を受けた方へ：当検定を何で知りましたか？



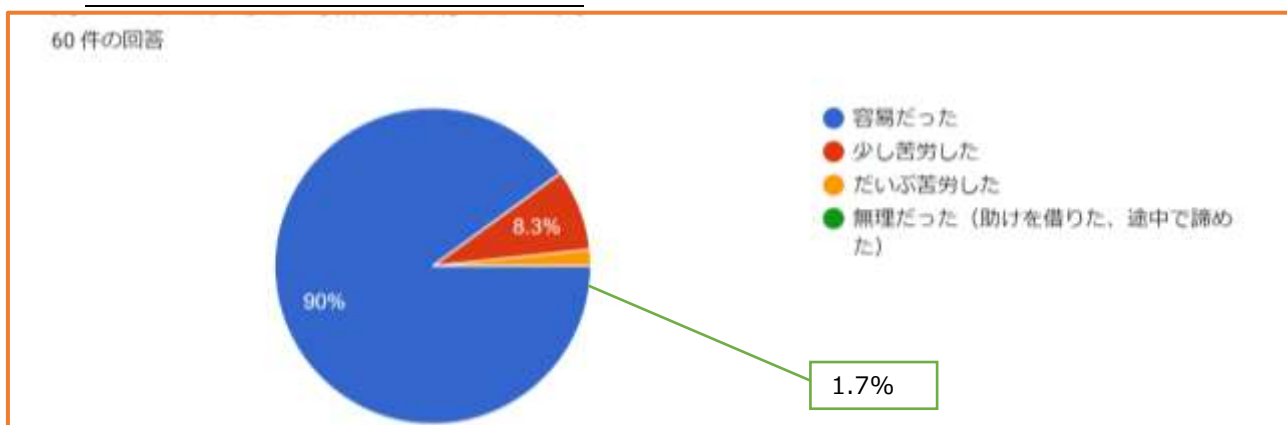
オンラインでの開催については、外部媒体の効果が予想外に低いことが分かりました。今後の広宣活動の参考にいたします。

### 問3 パソコンや通信回線に問題なく、スムーズに受験できましたか。



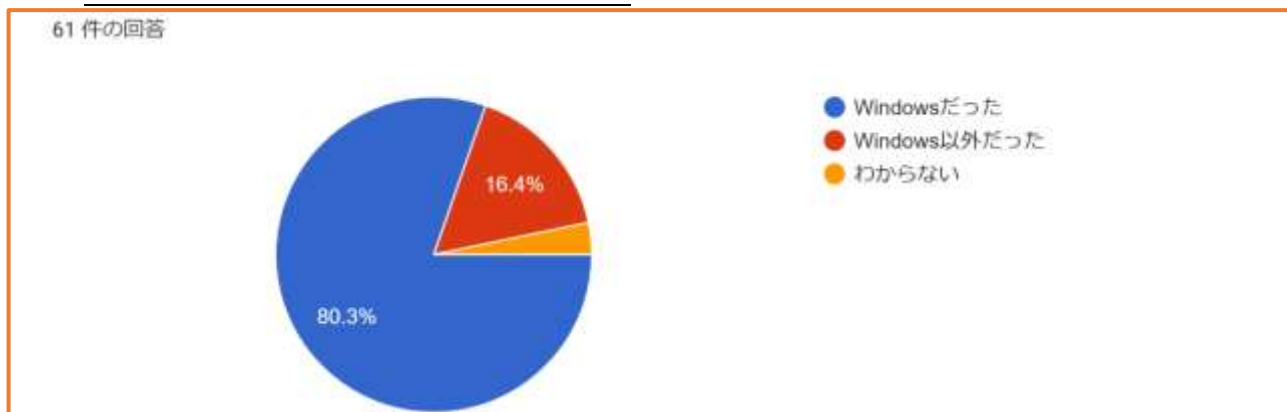
「問題があった」という回答は昨年の12.4%から減少しました。事前に端末や回線などをご確認いただけたためと思われます。

### 問4 パソコンなどの操作は容易でしたか。



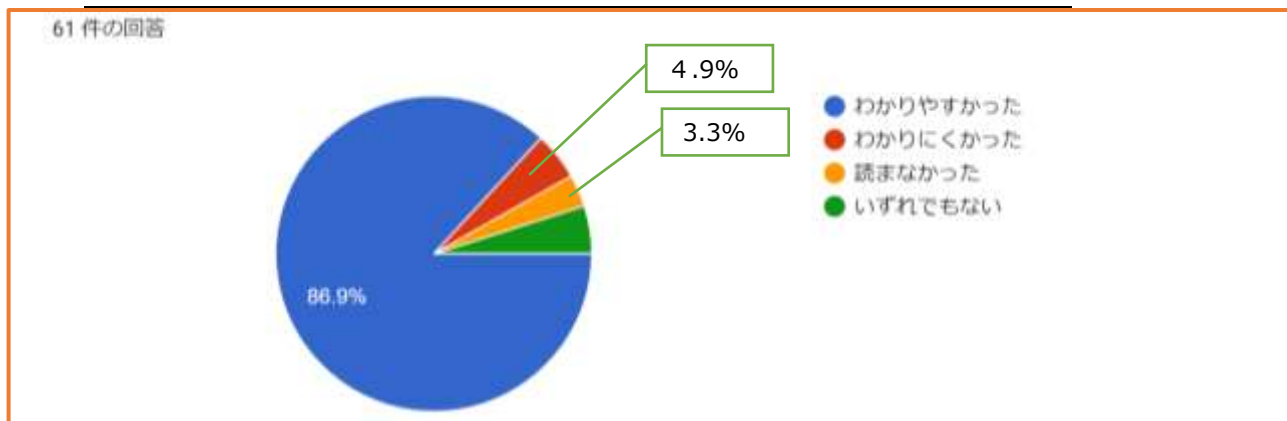
苦労された方は前回の19.1%から10%に半減しました。皆さん、だいたい慣れてこられたということでしょうか。

### 問5 Windows以外の端末を利用しましたか。



Windows以外の端末を利用した方は昨年の16%と同じ水準でした。皆さん順調に受験できたことを祈っております。

**問6 HP や試験開始前に掲示されていた注意事項は、わかりやすかったですか？**



「わかりやすかった」という回答が昨年より若干多かったことに胸を撫でおろしています。昨年の夏以降、公式サイト構成を見直し、スクショなどを盛り込んで詳しい画面操作方法のページを設けました。しかし、「わかりにくかった」という方が3名おられたことを真摯に受け止め、より簡潔明瞭で見やすいページにするよう改善します。

**問7 新型コロナ拡大以来、オンライン、実会場ともに受験者が減少し続け、40%余り減少しました。イタリア語だけではなく、他の第二外国語の検定試験も同様の傾向です。原因として思い当たることがあればお書きください。**

使用機会が減ったからだと思う
英語話者が増えたこと、イタリアやフランスの大学でも英語で受講できるクラスがあり留学生がその国の言語を学ぶ必要が少なくなってきたこと。(専門課程は除く)、Google翻訳の発達
学ぶきっかけに出会わないから?現地の人や空気に触れない限りは学ぼうとは思わないかも。
コロナ禍により海外離れが起こったため(コロナに関してアジア人差別をよく聞くようになり欧米に悪印象を抱く、旅行に行けず外国語を活かせる場面が減った等)。
日本人の内向化がさらに進んだ、onlineではなく身近に触れられるItaliaはじめ、他の国との接触が減った
外国語を実際に使う場面が少なくなったことや、自動翻訳機能の向上などで、外国語を学ぶ必要性が感じられにくくなっていること。
海外旅行に行ったり、テレビで海外の情報を見たりする機会が減ったから？ あと受験者に20代が多いので、オンライン授業の影響もあり、学校で先生から受験を勧められる機会が減ったりしているのかなと思いました。
外国へ行くことが減ったからだと思います
外国語、特に英語以外の言語を学習する醍醐味の1つにその言葉が使用されている地域へ赴き、現地で会話したり文章を読んだりすることが挙げられます。 私は学生時代に長期休暇を利用してイタリアに旅行しようと計画していましたが、コロナ禍で断念したことがあります。その経験から、学習の意欲が下がり数年ほどイタリア語から離れていました。 私と同じように、コロナ禍で海外渡航の機会を逃してしまい、そのまま外国語学習をやめてしまった方もいるのではないのでしょうか。
友人は ドイツ人と結婚して在住数十年です 日本に戻りドイツ語を教える職場を探しましたが、ドイツ語を学ぼうとする日本人はかなり少数派です。イタリア語の教室も 最初10人居た生徒さんが 今では2人です 難しい文法と たとえ学び続け 検定を受けても 合格する事が難しく、文法特化した勉強より 会話ができる様になりたいと思う方もいます。 それぞれの思いですが これだけ グローバルな日本ですが難しい第二外国語の検定試験を受けても その後言語を生かすChanceがあまり無いと言うのが現実の様な気がします。
➡パンデミック以降、海外に行ったり、外国語を使用する機会が減った・・・という趣旨のご意見が多数を占めました。語学検定の必要性を感じられなくなっているのかも知れません。生の言葉で直接意思や気持ちを伝え合う醍醐味と喜びを見直して欲しいと思うのですが、今はそのような環境にないのかも知れませんね。

生活がひっ迫して語学どころではない、海外へ行ける、という希望が持てない。
旅行などの関心が減ったから。物価も上がり趣味などに使うお金に関しても考え方がシビアになったから。
自由に海外を歩き来しにくくなった(コロナ後も飛行機が高すぎる)と思う。物価高で生活以外にお金を使う余裕のない人が増えたのかも。それと、自動翻訳などの機械の充実かもしれませんね。
➡全体的に「生活の余裕が無くなったから」という趣旨のご意見が目立ちました。肌身で感じる実情です。
地球温暖化による自然環境の変化や食糧不安、水不足等の天然資源の枯渇の問題、新型コロナウイルス等の未知の疫病の発生等で地球環境的な不安感が増したことや雇用環境の悪化や高齢化に伴う人手不足、物価高、政治不信等の社会的不安感が増したことによる心理的、時間的、経済的なゆとりや安心感が失われ、目先の生活活動に追われる機会が増した結果、知的、文化的な余暇活動に当てられる時間や機会、支出が失われてしまったことが原因として挙げられるのではないかと思います。
コロナやそれ以外のウイルスや細菌に対する恐怖心が残っています。
➡世情不安がまん延しており、語学学習どころではないのも実情なのでしょうね。そうした状況にありながらも受験いただいた方々に敬意をこめて感謝致します！
TOEICの受験者数も減っているので英語だけ特別扱いでするのも微妙ですが、英語を除く第二外国語学習者の学習動機は、学業・仕事のためというより、その国が好きだから、旅行してみたいから、という生涯学習・余暇としての動機が多数を占めると思います(第57回アンケート結果もそうなっていましたね)。
こうした中、コロナ禍、ウクライナ危機等により「海外旅行に対するモチベーションが下がった(現在も完全には回復していない?)」「物価高により余暇にかけられるお金が減った」ことから、受験者が減少しているという側面があるのかなーと思いました。根拠のない意見ですし、外的要因だったら対策打ちようがないやん、という話で恐縮ですが、...
数年に渡る海外渡航の自粛で渡航へのモチベーションが下がり、外国語学習意欲の低下に繋がったから。残念ながら、時間をかけて語学学習をすることにメリットを感じる人、喜びを感じる人が減っているのではないのでしょうか。単語の暗記やリスニングの慣れなど、地道にやることも多いです...。個人的にはイタリア語検定はぜひ存続して行ってほしいです。モチベーションにもなり、自分の実力を測ることができます。また、過去問題の解説が非常に参考になっております。
コロナ禍で海外渡航が制限されたことや円安のために外国への関心も下がってしまったことや外国語への需要が低下してしまったのではないかと。
円安で海外に向かう意欲が減退しているから。
➡受験(希望)者の方々に毎日応対していて肌身で感じるのですが、やはり明らかに意欲(モチベーション)が低下してしまったようです。語学に限らず、他の分野でも意識と行動が内向きになっているようにも感じます。意欲が復旧するにはまだまだ月日がかかりそうですね。
ITの進化で学ばなくてもある程度のことのできてしまうから。実際にイタリアへ行くなどのことがない限り第二外国語を学ぶメリットが見えにくくなってはいると思う。
分からないが自動翻訳機能の進化と関連があるかも？
➡自動翻訳アプリやデバイスの普及が原因ではないか、というご意見がもっと多いのではないかと想像していたのですが、予想外にご指摘は少なかったです。検定試験を受験された方々には、もともとそういう意識は希薄であったとも言えますね。
検定料の負担増
オンライン受検の存在や便利さを知らない事
資格試験の勉強以外にできなかったことが少しずつ再開して、今はそのコロナ禍にできなかったことを取り戻している人が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

問8 その他、ご感想やご希望があったらお書きください。

<p>オンラインで受けられて大変有り難かったです。</p>
<p>運営ありがとうございます。試験が学習を続けるモチベーションになっています。</p>
<p>検定は学習の励みになります。今後も学習を続けて受験していくつもりです。</p>
<p>続けて欲しい</p>
<p>検定があることで目標ができ、勉強がしやすかったです！運営等大変かと思いますが、ぜひ学習者のためにも続けていただけるととても嬉しいです。</p>
<p>オンラインでの検定を継続して欲しいです。集合型ですと、試験日、時間が合わないときぎらめてしまいますが、オンラインの場合は自分で試験時間を調整できるので受験しやすいです。</p>
<p>パリにいながらもイタリア語検定が受験できるとは思っていなかったなので、とても有難く嬉しいです。</p>
<p>システム構築・保守などなど大変とは存じますが、可能であればぜひ秋季もオンラインで受験できたら幸甚に存じます。</p>
<p>初めてのオンライン受験でした。</p>
<p>自宅という環境で受けられる事は、室温・時間帯等自由な点がありがたかったです。</p>
<p>ですが時間や試験官の合図ではなく、自分でクリックして試験を始める事には緊張感がありました。</p>
<p>また、リスニングでは回答にカウントダウンがあり、万が一タイミングを逃し選択し損なってしまった場合を考えると恐怖と緊張感が常にありました。</p>
<p>筆記パートは「あとで見直す」ボタンが便利で非常にやりやすかったです。</p>
<p>操作に不安はありましたが、事前に説明をよく読みデモをし、有線マウスなど準備して万全にしたこともあり、当日無事スムーズにできた事にホッとしております。</p>
<p>また、早い時期に正答が確認できるのも、ドキドキでしたが便利だと思いました！</p>
<p>ありがとうございました。</p>
<p>今回初めてITBで受験、ITBの良い点を実感できた。とはいえ、やはり会場で紙の試験用紙での試験の方を選択したいと考える。</p>
<p>会場だとスピーカーによって聞こえづらいので、オンラインで受けられるのはいいと思った。今後も両方で実施して欲しい。</p>
<p>今まで自主学習、自主復習のみだったので、答え合わせ交流会はとても良いと思う。</p>
<p>いつもありがとうございます。なんとか4級合格しました！しかし、まだまだ不確実な部分も多かったため答え合わせ交流会に赴こうと思っております。</p>
<p>また、この答え合わせ交流会という取り組みは素晴らしいと思います！</p>
<p>まだ行っていないので実際はどうかはわかりませんが、わからなかった部分を記憶の新しい内に振り返れるということは大変ありがたいことです。</p>
<p>これからもいつの日かイタリアに行けることを夢見て、勉強を続けたいと思います。</p>
<p>ありがとうございました。</p>
<p>検定を受けると言う事は 今まで学んできた事が確実に身に付いているかチェック出来るベストな方法だと思います</p>
<p>オンラインはクイズ感覚で楽しかったです。今年初めての受験でしたがイタリア語を忘れないためにも毎年受けたいです。お疲れ様でした！</p>
<p>(他の語学も同様に)伊検は、学習の励み・効果測定として社会的にも認知されているし、これから大切な役割を担っていると思います。財政面で厳しい局面もあるとは思いますが、政府・大学等も巻き込んで、より安定した運営が出来るよう願っております。</p>
<p>➡検定、そしてオンライン試験をご利用いただき、またに高い評価をいただいて有難うございます！答え合わせ交流会は初の試みだったこともあり、まだまだ認知度が低かったと思います。皆さんの期待のお応えすべく日々将来への道を模索しています。</p>
<p>料理の仕事をしているので「少しイタリア語を読めるようになりたい」から始まり、どうせやるなら目標を持つと思っていました矢先、先生から勧められてこの検定を知りました。今回は3級と4級を受検しました。昨年は2週間という超短期ですがトリノの語学学校にも通いイタリア語を学ぶ楽しさ、語学を学ぶ意義を実感しています。オンラインで受検できるようになり、出題の形式や表示に関してさまざまな意見が出ているようですが、注意深く画面をみていけば避けられるものばかりで、個人的には今のままで全く問題ないかと思えます。また、最初の注意書き、試験終了ボタンを押した時の警告などもしっかり表示されたので安心して操作できました。ネガティブな意見もありますがそれに向き合い協会の皆さんが試行錯誤してこの検定を継続してこうという姿勢はいつも伝わってきます。身近なところからではありますが、これからも勉強を続けてイタリアの食や文化を広めていきたいと思えます。検定試験お疲れ様でした。</p>
<p>➡これまで本当に色々なご意見・非難がありました。それを参考に、お金のかからない範囲で試験問題の提示方法や注意書きなどを改善してきました。その成果があったのでしょうか、今回はあまり“クレーム”は目立たなかったです。このアンケートは本当に参考になります！皆さん、貴重なご意見を有難うございます。</p>

1年ほど前からイタリア語の学習を開始し、今回検定を受験させて頂きました。試験準備の一環でHPの記事や過去のアンケート結果を拝見しましたが、試験運営ひいては協会運営で本当にご苦労されていると感じ取りました。そのような状況の中、検定試験制度を継続いただけていることに本当に感謝いたします。ありがとうございます。

→HPのコンテンツを丁寧にご覧いただけて嬉しいです！もっと細かく丁寧に記載したいのですが、よほど簡潔明瞭に記載しないと結局は読んでいただけません。その「兼ね合い」が悩みどころです。

5級をもっと易しくしてください。難しいです。4級との差があまりないように思います。もっと簡単に5級が取れたら、イタリア語学習への意欲がもっと湧くのでは、と思います。別件ですが、サイトの全体構造が少しわかりにくいです。

→「5級が難しすぎる」というご意見が多いのですが、急に易くするとこれまで受験してきた方々から大ブーイングが出るでしょうね。「入門レベル」を新設するほうが現実的かも知れません。コンテンツの追加によるサイトの建て増を続けてきたため、サイトの構造が分かりにくくなっているかも知れません。今年の夏に大幅に退廷したのですが、さらに改善すべく検討いたします。

もっとculture, languageともにふれられるような機会の周知があったらうれしいです！

いろんな語学試験受けていますが、伊検さんがいちばん丁寧でおもしろく、学習意欲を高めてくれるような試験問題の共有をしてくれていると思っています。

listening問題は、はじめは他の語学試験と比べると難しいと思いましたが、分量が多いため練習機会が圧倒的に伸びてかなり伸びました！他の語学試験と比べても本気さを感じられて助かっています。

→受験者の方々への「敷居を下げる」ことに努めてきました。ですので、このように仰っていただけるのが何よりの励みになっています！

オンラインでの受験は、これからの時代、ますます重要性を持つてくると思います。リアルとの両方での開催をされていて、ありがたいです。私は5級でしたが、大変受けやすかったです。オンラインの特性を活かして、試験の結果が受験後すぐにはわかったり、合格証明書もデジタル証明書の対応があれば、、、と思いますが、予算などの兼ね合いもあると思いますし、このままでも十分ですので、まずはぜひ存続をお願いいたします。ありがとうございました。

デジタルデータでもよいのでオンライン受験でも合格認定証の発行を検討いただければ幸いです。また、各級のCEFR対照がわかると目指すべき級の計画が立てやすくなります

→合格認定証をPDF書類でダウンロードできるようにしたかったのですが、様々な根本的な問題があり実現に至りませんでした。これについては昨年(56回)のアンケート結果、10ページ目に詳しくご説明してありますのでご覧いただければ幸いです。

CEFRとの対応表については何度となくご要望いただいているのですが、まだ実現に至っておりません。引き続き問題作成責任者達と協議を進めて参ります。

リスニング試験、全問解答したつもりでいたが3問も未解答判定だった。短くても良いので、リスニングも試験中に自身の解答を見直せる時間を設けてほしい。(筆記試験の冒頭数分など)

準2級を受験しました。自宅から受験できるIBTは便利だと感じましたが、反面リスニング問題は厄介でした。例えば、N9、N13、N17-19は問題文の読み上げ前にパート自体の説明が入るため、事前に選択肢を読む時間があつたものの、それ以外のN10以降については、ページが切り替わるとすぐに音声が始まっているように感じました。そのため、選択肢を読む時間が非常に短かったです。可能であれば、ページが切り替わってから音声が始まるまでに、もう少し時間を設けて頂けるとよかったです(その方が、会場受験の場合と条件も近くなるかと思えます)。逆に、音声が終わった後に長めの時間を設けていただいていたのですが、いくら考えても聞き取れなかったものは聞き取れていませぬので、そこはそれほど長い時間を設けなくて良いと感じました。

私個人の結果としては、1回目の読み上げでは選択肢を読むことに時間を使いつつ音声を聞き流し、2回目の音声でようやく集中して聞くという感じになりました。IBT受験の対策として「選択肢を読むのは後回しにして、とりあえず計2回の読み上げに集中する」という作戦もアリなのかもしれませんが…。ご検討いただけましたら幸いです。

リスニング、オンライン受験ではとにかく問題を読む時間がありません。問題文が流れ終わってからではなく、流れる前にあと5秒でいいので時間が欲しいです。または問題文の長さを短くするとか先の問題を見ておけないオンライン受験の不利を考慮していただければ幸いです。

リスニング試験終了後、1分ほどでも良いので回答チェック(回答修正)をできるようにしたいです。一問、どれを回答しようか考えていたら次の問題に行ってしまう未回答になってしまったからです。ご検討をよろしく願い申し上げます。

→「リスニングの見直しを可能にして欲しい」というご希望は第54回から多数寄せられていますが、諸々の事情によりご要望にお答えすることができないのです。54・56回のアンケート結果に詳しくご説明してありますのでご覧いただければ幸いです。

現在、音声スタート前に3秒間の待ち時間を設け、各設問の所要時間も会場試験より10秒長く設定して、その設問の解答を見直しできるようにしています。「音声開始前に問題文やイラストなどを見る時間が欲しい」というご意見が見られましたので、次回は音声開始前に10秒ほど待ち時間を設けようかと考えています。(開始前に無音状態が続くと不安になる方々が多いと思い、これまで3秒としていましたが、10秒程度にして構いませんね?)

イタリア語は難しいですが、参考書や問題集も少なく学習に苦労しています。言語学習は日本語と比較すると楽しいと思うので発信をどんどんして欲しいです。あとはリスニングの所の絵や文字が見にくい(比率が良くないのか)その辺りを改善してもらえると嬉しいです。

試験の機会をいただきありがとうございました。

→画面表示の比率については色々なご意見の最大公約数に設定すべく、散々悩んで現在のようにしています。第54回では画面レイアウトや比率を設問ごとに変えたのですが「あっちこっちに目が移って戸惑った!」というご意見があったので、現在は全問統一したレイアウトにしています。

IBTで受験して思った事は、長文を読んでいて画面をスクロールすると、クラクラと目がまわったようになって、どこの行を読んでいたのか分からなくなりました。今、読んでいるところをマウスでマーキングできるといいなと思いました。

リスニングの試験で、練習問題と思ってクリックしたら本試験となり、あわてた。練習問題と本試験のページの区別をもう少しわかりやすくしてほしい。

→恐れ入りますが、本番試験を開始したのだということをご自覚いただいて受験開始してください。練習(本番デモ)は、本番画面に事前慣れしておいていただくために、本番そのものを提示しています。ご了解ください。

一点に泣く 一点で不合格

まさに私の事です。最後の数分で 見直し、書き直し!

それが間違いの元! 消しゴムで書き直した後には 正解の跡が!

この話を 悔しく 悲しく 家人に何度も話してたらしく

ある時「一点で不合格 ではなく 一点で 合格でしょ」

そうです! 下がったモチベーションが 上がって来る思いでした。

日本語の漢字「不」はたったの三角、

invece

「天と地」の思いです。

検定協会からの通知に “不” が付いていません様に!

オンラインでの試験は、メリットとして会場に行かなくて良い、都合の良い日時で受験出来るが、デメリットとして、受験中にエラーが起こる、紙媒体に比べモニターは集中力、緊張感が低下する。

→「モニターを見ながら開始から終了まで自己管理しつつ受験するので、集中力を求められ、緊張感がある」というご意見の方もいらっしゃいました。

MAC bookで受験しましたが何も問題なかったです。MACユーザーはWindowsユーザーと同数くらいはいると思いますので正式にOKにしていただけるとよいと思います。

→過去のアンケート結果でもお答えしていますが、Mac対応を保証できる段階では無いのです。画面表示はWindowsと同じに見えても、見えない「裏」で動作している制御プログラムは互換性が保証されていません。Mac対応にするにはシステムのプログラムを新たに開発し、綿密に動作を検証する必要があります。それには当検定では到底捻出できない莫大な開発費が必要となります。申し訳ございませんが、Macでの受験は自己責任にてお願いいたします。

IBTも3回目(4試験目)で問題なく終了しました。

直近の対面受験地まで約300kmです。想像してください。東京在住者が新潟まで移動するのと同じです。当地の新幹線もいつ完成するのやら(建設中)。場合によっては飛行機移動プラス宿泊が必要です。確かに対面試験を必要とする方への配慮も必要ですがリモートもなくならないようお願いします。別項でも回答しましたが、NHK講座、旧くは雑誌「蛍雪時代」(旺文社)も全国津々浦々、貧富の差なく若者(老人も含め)の勉学を支援する目的だったそうで、まったく現代のリモートの元祖ではないでしょうか。老若男女問わず志のある方々の語学学習振興のためリモート試験の継続を切望しますとともに、私も微力ではございますが支援(とともに受験)を継続したいと思います。

→IBTをご評価・ご利用いただけて誠に嬉しく、励まされております。ただ、Windowsのネット環境をお使いになれない多くの方を排除してしまったこと。また、公正さへの疑念を生じたのも事実です。ご評価の言葉に「いい気」にならず、これからも謙虚な姿勢で取り組んでまいります。

介護のため、急遽実家での受験となりました。実家にはPCが無く、iPadしかなかったため、何度もリスニング状態を確認してから受験しました。しかしながら、試験本番では途中で音声が聞こえなくなり、途中で止める事ややり直すこともできなかった為、問題の選択肢の絵から推測して解答しました。もともと試験環境はPC受験推奨と知っていたので、不具合申告も諦めざるを得ませんでした。

(それでも、私はイタリア語が好きです。細々ではあっても、これからも学びたいと思っています。)

オンライン試験は画面になれる様に練習をしてきたつもりですが万全とは言えませんでした。打ち間違いが多くありました。

発売されている問題集のCDも本番と同じように2度繰り返していただけると、実戦さながらに受験準備ができると思う。

▶オーディオCDには最大録音時間に絶対的な制約があるため、繰り返しを収録することは不可能です。それを補うため、過去問題集に印刷されている二次元バーコードを読み取っていただければ本番の音源を聞いていただけるようにしていますので、どうぞご利用ください。

できる限り皆さまの声をそのままお伝えしたかったのですが長大な内容となってしまいましたがお許しください。

貴重なご意見の数々に改めて御礼申し上げますとともに、建設的なご意見や、ごもっともなご指摘については次回に改善させていただきたいと考えております。

イタリア語検定協会  
事務局